

全日本空手道連盟環境委員会の試み

アンケートにご協力いただいた感謝と共に

現在、地球温暖化やプラスチック製品の海洋汚染等、地球環境を守るために様々な場所で様々な人々が行動しています。スポーツ界でもJOCや日本スポーツ協会が「環境フォーラム」を開催し「競技団体ができること」「アスリートができること」「見る人、参加する人ができること」などの提案をしています。我々、全日本空手道連盟も環境を守るための活動を実践するために「環境委員会」を発足し、活動しています。

このアンケートは、会員の皆さまの思いや意見を収集し、環境委員会として今度の活動の可能性を探るためものです。以下に結果の概略及びこれからの方向性を示し、感謝の意を込めてご報告いたします。

調査の期間 2024年3月7日から3月24日まで

回答総数 927件 設問

結果

- | | |
|------------------------|---------------------------------------|
| 1.対象者（道着等の使用者）はどなたですか？ | ご自身とお子様 が 90%以上 |
| 2.道着の処分方法について | 後輩などへお下がり 62%、
ゴミとして処分 19% |
| 3.帯の処分方法について | 後輩などへお下がり 53%
ゴミとして処分 14%困っている 12% |
| 4.防具の処分方法について | 後輩などへお下がり 56%
ゴミとして処分 22%困っている 9% |

以上のことから、すでにかかなりの割合でリサイクルされていることが明らかになりました。

自由記述では、否定的な意見よりも「環境問題への取り組みは、(社会的な)組織として重要な位置を占めることと存じます」や「このようなアンケートで前向きに取り組む姿は好感が持てる」など、環境問題について取り組むことに賛成し、必要だと捉える意見が多く見られました。と同時に「何も聞いていないし知らない」や「どのような活動をしているのかわかりません」のような意見もあったため、積極的な情報発信が必要であることも明らかとなりました。さらに「SDGsウォッシュにならないように、やるのであればしっかりと実のある活動としていただきたい」「今までになかった活動なので成果が出るように期待します」という記述もあり、これからの活動に期待して下さっている様子もうかがえました。これを踏まえ、これから環境委員会としての活動についてお知らせします。

- 【1】 全空連としての環境に対する行動指針を決めます。
- 【2】 その上で、すぐにできることを実践します。例えば、水筒の持参やゴミを持ち帰るなどの啓蒙活動、大会の実行面でもペーパーレスやリサイクルできるシステムの活用などを検討します。
- 【3】 用具を捨てなければならない場合、特にメンホーの分別についての注意点を+会員の皆さまへお知らせし、適切な処分方法を周知します。さらに、用具を長く使用するためにパーツの交換が可能かどうか、あるいは回収してリサイクルできるような素材に改良するなどの対応を業者の協力を得ることができるか？を模索します。
- 【4】 道着についても、今まで以上にリサイクル・アップサイクルができるかどうか、海外への寄付や、中学で空手道を実施している学校へのレンタルも視野に入れて模索します。

スポーツの競技団体として環境問題について積極的に取り組んでいくことは、スポーツ界だけでなく持続可能な社会を実現することにつながります。環境委員会の今までの取り組みは空手ウィークのワークショップのみでしたが、今回の調査で明らかになったことを糧に、空手道を通した「スポーツ SDGs」活動をさらに進めていきます。